



# かず (数量・図形)

思考力や認識力の礎となる、数や図形の基本的な概念について楽しく学びます。

## かず P.16~17 集合(仲間集め)

**ねらい** 仲間(概念)を見つけながら、絵の向き、形、大きさが違って仲間であることを学びます。

### 導入の言葉かけのヒント

「カエルさんが『仲間はどこかな?』と探しているよ。いっしょに探してあげようか。どこにいるかな?」というように、友だちを探そうと誘いをすると楽しいでしょう。

### 展開の言葉かけのヒント

「いろいろな色のチョウが飛んでいるよ。みんな同じチョウの仲間だけれど、色が違うね。黄色のチョウの仲間は何匹いるかな? 数をかぞえてみよう」と誘ってみよう。かぞえたチョウを指で押さえながら確認してみると、仲間分けや数に対する意識がより高まるでしょう。

### ● 小学校へのつながり

「チョウ」も黄色だけでなく青やピンクもいて、それらを弁別したり、同じ「チョウ」だと認識したりする概念の分類や階層の理解は、語彙習得や図形の学習などにつながります。



## すうじ P.22~23 数字(1~5)

**ねらい** 絵探し遊びを楽しみながら1から5までの数をかぞえたあと、1から5までの数字を書く練習をします。

### 導入の言葉かけのヒント

「縄跳びや滑り台で遊んでいるね。みんな楽しそうだね」と絵に注目するような言葉かけ、「あれ、ここにも仲間がいるね。いっしょにかぞえてみようか」と誘います。

### 展開の言葉かけのヒント

「見て! 上に数字が書いてあるよ。仲間の数が書いてあるんだね。なぞってみよう」と誘い、筆順の見本を見せながらいっしょに書いてみるとよいでしょう。「数字の1は一本線だね。2はアヒルみたいだね」と、数字の形を認識するような言葉かけにより、楽しく書けるでしょう。

### ● 小学校へのつながり

数字は、書けるようになるだけでなく、量や順序など数のもつ意味を実感することがたいせつです。数字の「1」は1個分や1つ目を表すという理解が四則計算など算数の学習につながります。



## かたち P.24~25 描写(縦・横)

**ねらい** 見本をよく見ながら線をつないで形を描くことで、ひらがなを書く前段階である運筆の練習にもなります。

### 導入の言葉かけのヒント

「夜になると星が見えるよね。昔の人は、星と星を線でつないで、星座を作ったよ。みんなも見本のように点と点をつないで、星座を作ってみようか」と誘います。

### 展開の言葉かけのヒント

「線をつなぐと四角ができたよ。椅子のように見えるね」などと形を意識するような言葉かけると、子どもは点が線になり線が形になることを、改めて確認できるでしょう。「ゆっくりでいいから、よく見て書こうね」と声をかけ、落ち着いて取り組めるように配慮します。

### ● 小学校へのつながり

点をつないで形を描く活動は、9つの点でどんな形ができるかという図形の学習のみならず、運筆の向きや力をコントロールする、小学校で必要な文字を書く力の基礎を培います。



# くふう (思考・創造)

自ら考え創意工夫する力(思考力・創造力)を養い、小学校での学びの土台を育みます。

## くふう P.28~29 弁別

**ねらい** 左右の絵をよく見比べることによって、同じものと違うものを見分け、識別する能力を養います。

### 導入の言葉かけのヒント

「この2つの絵は同じかな? 違うかな?」「ぱっと見ると同じに見えるけれど、よく見てごらん……あれ? 少しだけ違うところがあるよ」などと注意を促します。

### 展開の言葉かけのヒント

どこから注目してよいかわからなくて、なかなか集中できない子どもには、「端っこからひとつひとつ順番に見ていくと、違うところに気がつくよ」と声をかけます。場合によっては半分を隠して「この中で違うところはあるか」と範囲を狭めて探してみてもよいでしょう。

### ● 小学校へのつながり

絵の弁別には注意力、記憶力、比較する力が必要です。国語の文章読解や算数の図形理解、理科や社会で物事や事象を観察し、比較する力につながっていきます。



## くふう P.30~31 空間認識

**ねらい** 場所や位置を把握し対応させて、一つひとつの場所を確認しながら、空間を認識する能力を育みます。

### 導入の言葉かけのヒント

「マンションに住んでいるお友だちは、いるかな? 何階に住んでいるかな?」と、日常生活や体験と関連づけると、よりイメージが具体的にになり、興味がわくでしょう。

### 展開の言葉かけのヒント

「みんなで宅配便屋さんになって届けてみようか」と誘い、「ピンポン、お届け物です~」などと言いながらシールを貼ると、ごっこ遊びのような気分で楽しめるでしょう。「お届け先は1階ですか?」「お部屋は真ん中ですか?」などと確認しながら進めるとよいでしょう。

### ● 小学校へのつながり

場所や位置を把握する活動を通して、右から何番目、上から何番目という順序を理解したり、平面や立体上の位置を特定したりする、算数で求められる力につながっていきます。



## くふう P.32~33 関連性

**ねらい** 物の関連性を認識しながら迷路遊びを楽しむとともに、道をたどって直線を引く練習にもなります。

### 導入の言葉かけのヒント

「どんな乗りものに乗るかな?」「どんな食べ物が好きかな?」と質問をしたり、絵カードを分類したりする遊びから進めると、同じ仲間を自然に理解できるでしょう。

### 展開の言葉かけのヒント

迷っている子どもには「車に乗って出かけたら、次は何に乗るかな?」「おにぎりを食べた後は、何を食べようか」「ネコの次にはだれに会うかな?」などと声をかけるとわかりやすいでしょう。「鉛筆のお散歩、さあ出発! 道からはみ出さないようにね」と促しましょう。

### ● 小学校へのつながり

物事や事象には特性があり、その特性の関連性を捉えて仲間分けする力は、国語の語彙習得や算数の図形の理解、理科の動植物の分類などさまざまな学習の基礎となります。

